

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~6日	1月 ~13日	1月 ~20日	1月 ~27日	2月 ~3日	2月 ~10日	2月 ~17日	2月 ~24日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	5	18	21	12	12	12	0 (15)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	11	30	27	17	23	24	15 (20)	14
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	0	3	2	0	0	0	1 (2)	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	2	4	3	1	3	3	0	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	3	7	6	6	4	5	2	5
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	5	9	7	2	4	8	6	5

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 広島県感染症発生動向週報

平成31年第8週(2月18日~2月24日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	15	結核	15		1	5	1	7	1		
三類	0	発生なし	0								
四類	2	レジオネラ症	2			1		1			
五類全数	23	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1			1					
		急性脳炎	1							1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1	
		侵襲性肺炎球菌感染症	3	1				2			
		梅毒	5			1		2			2
		百日咳	7		3		1	2			1
		風しん	5			5					

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
北 部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第8週 2/18~2/24)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

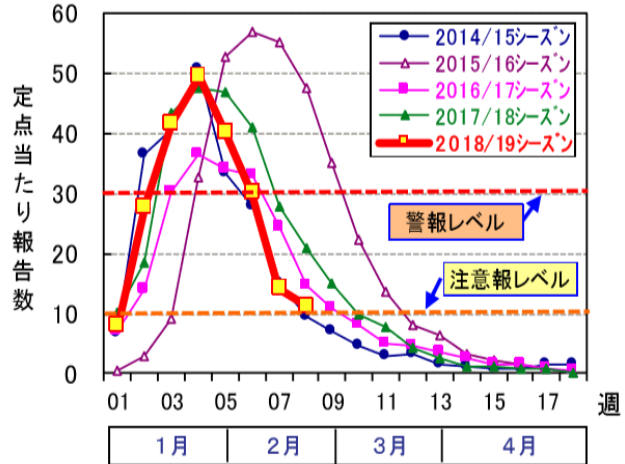
1. インフルエンザ

定点当たり11.3人の報告がありました。報告数は減少していますが、注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も10件報告されており、学校などの集団生活の場では、引き続き注意が必要です。健康管理に注意し、流水・石けんによる手洗い、咳エチケットの励行など感染予防対策を徹底しましょう。

2. RSウイルス感染症

定点当たり0.88人と、例年同時期と比べて多くなっています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、感染を避けるための注意が必要です。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	419	11.32	21.75	↘	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.47	
小児科	咽頭結膜熱	10	0.42	0.19	↘	眼科	RSウイルス感染症	21	0.88	0.23	↗
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	3.00	2.90	↘	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	138	5.75	8.59	↘	眼科	流行性角結膜炎	4	0.50	0.38	
	水痘	3	0.13	0.43		基幹	細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	手足口病	1	0.04	0.24			無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	伝染性紅斑	8	0.33	0.35			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09	
	突発性発しん	4	0.17	0.29			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.06		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	0.88		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	7	29	男性(40歳代)・2人、女性(40歳代)・1人、男性(50歳代)・2人、男性(60歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	2	男性(80歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	5	女性(60歳代)、男性(80歳代)
5	梅毒	2	11	男性(40歳代)、男性(60歳代)
5	百日咳	2	10	女性(40歳代)、女性(50歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

新たな検査結果はありません。